

平成27年度 事業報告書

社会福祉法人 松野町社会福祉協議会

目 次

I 一般会計事業

1 法人運営事業	P 1
2 地域福祉推進事業	P 4
2-1 地域福祉推進事業	P 4
2-2 福祉相談・援助活動の推進	P 8
2-3 共同募金運動等の推進	P 10
2-4 福祉団体事務	P 11
3 在宅福祉サービスの推進	P 12
3-1 居宅介護支援事業	P 12
3-2 訪問介護事業	P 14
3-3 訪問入浴事業	P 15
3-4 身体障害者居宅介護事業	P 15
4 まごころ銀行事業	P 16

1 法人運営事業

(1) 本会の支援基盤及び財政基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

会員募集結果	一般会員	1,186,000 円	(1,186 件)
	特別会員	54,000 円	(18 件)
	合 計	1,240,000 円	

(2) 理事会、評議員会の開催（定数 理事 13 名 監事 2 名 評議員 27 名）

○理事会

平成 27 年 5 月 26 日 出席者 理事 12 名 表決 1 名 監事 2 名

評議員の補欠選任について

定款の変更について

平成 26 年度松野町社会福祉協議会事業報告について

平成 26 年度松野町社会福祉協議会一般会計収入支出決算の認定について

地域福祉活動計画 策定委員会設置要綱の制定について

その他

平成 27 年度予算書の参考資料の提出について

赤字予算と公用車の台数について

平成 27 年 7 月 8 日 出席者 理事 13 名 監事 2 名

松野町社会福祉協議会職員資格取得助成要綱の制定について

まごころ銀行助成金交付に係る審査について

その他

登記の完了について

組織表の配布について

平成 28 年 3 月 28 日 出席者 理事 12 名 表決 1 名 監事 2 名

評議員の補欠選任について

個人情報保護に関する方針（プライバシーポリシー）の改正について

個人情報保護規程の改正について

職員就業規則等の改正について

特定個人情報保護規程の制定について

平成 27 年度松野町社会福祉協議会一般会計補正予算（案）について

平成 28 年度松野町社会福祉協議会事業計画（案）について

平成 28 年度松野町社会福祉協議会一般会計予算（案）について

その他

○評議員会

平成 27 年 5 月 27 日 出席者 評議員 17 名 欠席 10 名 監事 2 名

報告 評議員の選任について

地域福祉活動計画 策定委員会設置要綱の制定について
 定款の変更について
 平成 26 年度松野町社会福祉協議会事業報告について
 平成 26 年度松野町社会福祉協議会一般会計決算について
 その他
 正規職員への登用試験結果について

平成 28 年 3 月 29 日 出席者 評議員 20 名 欠席 7 名

報告 評議員の補欠選任について
 報告 個人情報保護に関する方針（プライバシーポリシー）の改正について
 報告 個人情報保護規程の改正について
 報告 職員就業規則等の改正について
 報告 特定個人情報取扱規程の制定について
 平成 27 年度松野町社会福祉協議会一般会計補正予算（案）について
 平成 28 年度松野町社会福祉協議会事業計画（案）について
 平成 28 年度松野町社会福祉協議会一般会計予算（案）について

(3) 監査の実施状況

平成 27 年 5 月 13 日 14 日 （26 年度監査）監事 2 名、会長、職員 2 名

(4) 労務管理・職員数の状況

全体					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
平成27年4月1日	10	5	1	4	20
平成28年3月31日	11	4	0	4	19
増 減	1	△ 1	△ 1	0	△ 1

法人運営・地域福祉推進事業					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
平成27年4月1日	2	2	0	2	6
平成28年3月31日	3	1	0	3	7
増 減	1	△ 1	0	1	1

在宅福祉サービス推進事業					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
平成27年4月1日	8	3	1	2	14
平成28年3月31日	8	3	0	1	12
増 減	0	0	△ 1	△ 1	△ 2

(5) 各種大会の開催

①松野町敬老式の開催

松野町及び松野町中央公民館との三者共催による松野町敬老式を開催した。本年は、町制60周年記念事業として事業内容を拡充して開催した。通年は祝い歳の高齢者（数え77歳、80歳、88歳、90歳、99歳、100歳）を対象とした内容を、高齢者一般へと拡充し、式典後のアトラクションにおいて、著名な演歌歌手などによる演芸会を開催し、高齢者を盛大に祝福した。

9月11日 開催

主な内容

式典

オープニングショー

各保育園児

記念品贈呈（祝い歳の高齢者）

児童作文発表

各小学校児童代表

慰安演芸会

アトラクション（演芸会）

三船 和子、ささぐり演芸等

開催費用 2,507,460 円

記念品贈呈者数

単位:人

祝い歳	生まれ年	合計
喜寿(数え77歳)	昭和14年生まれ	51
傘寿(数え80歳)	昭和11年生まれ	66
米寿(数え88歳)	昭和3年生まれ	30
卒寿(数え90歳)	大正15年/昭和元年 生まれ	50
白寿(数え99歳)	大正6年生れ	2
百賀(数え100歳)	大正5年生れ	0
合 計		199

敬老式 高齢者等出席状況												
年度	平成27年度			平成26年度			平成25年度			平成24年度		
	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者
内訳												
喜寿	51	20	21	53	16	16	85	41	39	73	30	27
傘寿	66	34	33	80	27	28	74	24	23	83	29	28
米寿	30	10	9	48	11	10	51	14	15	44	16	18
卒寿	50	7	7	41	15	14	41	11	10	30	8	8
白寿	2	0	0	1	0	0	4	1	1	6	2	2
百賀	0			2	2	2	3	1	1	3	1	2
小計	199	71	70	225	71	70	258	92	89	239	86	85
老人クラブ代表	/	65	-	/	54	41	/	56	54	/	59	47
祝い歳重複者	/	3	-	/	7	6	/	12	12	/	9	6
合計	199	133	-	225	118	105	258	136	131	239	136	126
慰安演芸のみ		153										
参加割合 当日参加者/該当者		喜寿 41%		喜寿 30%			喜寿 46%			喜寿 37%		
		傘寿 50%		傘寿 35%			傘寿 31%			傘寿 34%		
		米寿 30%		米寿 21%			米寿 29%			米寿 41%		
		卒寿 14%		卒寿 34%			卒寿 24%			卒寿 27%		
		白寿 0%		白寿 0%			白寿 25%			白寿 33%		
		百賀		百賀 100%			百賀 33%			百賀 67%		

②松野町戦没者追悼式の開催

松野町並びに松野町遺族会と共催による戦没者追悼式を開催した。
なお祭壇は、昨年度から造花を使用して設営し、実施した。

参加者 約 60 名

開催費用 64,122 円（献花代、記念品代、会場設営費等）

3 月 17 日 開催

③少年の日を祝う会への助成

松野中学校と相談し、中学 2 年生 34 名を対象に記念品等を贈り、その開催を支援した。（少年式は授業時間数の確保等のため、平成 16 年度に開催形式を変更し「少年の日を祝う会」とし、中学校単独実施となっている。）

助成費用 56,478 円（記念品代、会場設営費等）

④福祉のつどいの開催

福祉問題をより身近に感じて、住民の福祉に関する理解と関心を高められるよう講演会等を開催した。

本年度は、生活の土台となる「健康」をテーマに、子どもから大人まで地域の様々な人が参加できる講演会とイベントを行った。

開催前イベント 社協の事業紹介スライド

バルーンアート

フレンドのパン販売

講演 中元 幸美 氏 理学療法士・足指インストラクター
(山口県)

「子どもも大人も元気な体は足元から」

(参加型足育講演会)

参加者 約 100 名

開催費用 142,467 円

11 月 21 日 開催

2 地域福祉推進事業

2-1 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉活動計画の策定に向けた基盤整備

高木 寛之 講師（山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科）の指導を得ながら、地域福祉活動計画策定に向けたアンケート調査を実施した。

小中学生へのアンケート調査については、各小中学校の協力により実施し、住民向けアンケートについては、区長さんや組長さんの協力の下行った。

なお、調査内容をデータ化し、報告書にまとめて策定委員会や住民座談会等で活用する予定である。

・小学校 4 年生～中学生 193 名（小学生 94 名、中学生 99 名）

平成 27 年 9 月

・住民向け (18歳以上) 2,590名/3,501 74.9%
平成27年8月下旬～10月
費用等 138,038円 (共同募金配分金利用)

(2) ボランティアグループの支援

松野町福祉ボランティアグループと協働して、見守り型給食サービスの実施や
広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。

また、日赤奉仕団のボランティア活動を支援した。

○福祉ボランティアグループ総会の開催

平成27年5月28日

○給食サービス (月2回) 計24回 配食数 628食 (26.2食/回)

利用者 (見守りが必要な一人暮らしの高齢者等、老夫婦世帯等)

23名～29名 (入院等による月変動有り)

○朗読ボランティア活動 (朗読ボランティアグループによる自主的活動)

広報まつの等を年12回録音しテープを貸出した。

利用者 1名

津島町ボランティアグループとの学習交流会 1回

読み聞かせ研修会参加 2回 (5名)

読み聞かせや百人一首の実施 (学童保育4回、松野東小学校1回、
フレンドまつの1回、
野村夏休みチャレンジ教室1回)

○ボランティア活動保険への加入

誰もが安心してボランティア活動に参加できるよう、社協を拠点とした福
祉ボランティア活動者全員に対応できる保険に加入した。

加入者数 74名 22,200円 (一人300円)

○日赤奉仕団の支援

総会の開催支援 平成27年4月16日

赤十字手つなぎボランティアの支援 平成27年6月5日

花苗植え活動

学校での自炊活動 (ハイゼックスでの炊飯) 総人数48名

赤十字地域高齢者生活支援活動「ひだまり赤十字」平成27年10月21日
ミナクル会 (富岡古市場地区サロン)

防災講座の支援 平成27年10月7日

西小学校5年生 総人数28名

防災ずきん作り

森の国安全で安心なまちづくりフェア 炊き出し訓練への支援

平成 27 年 7 月 26 日

奉仕団参加 15 名

赤十字ぬくもり子育て広場の開催支援 平成 27 年 11 月 18 日

子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 8 組

(3) ボランティア活動推進

○ ボランティア活動の場を広げるため、施設やイベント等の要望について情報収集し、ボランティアへとつなげた。

- ・ライフまつの 利用者クラブ活動支援
- ・古城園 童謡唱歌の会訪問活動支援
- ・朗読ボランティア読み聞かせ活動など
- ・桃源郷マラソン大会給水ボランティア
- ・フレンド芝桜まつり

○ ボランティア活動の質の向上のため、講習会等の情報提供や他ボランティアグループとの勉強交流会の支援をした。

(4) ふれあい郵便の実施

一人暮らしの高齢者並びに介護保険利用者へハガキを年 2 回程度郵送し、安否確認を行い、地域の見守り活動を推進した。

ふれあい郵便配達数	年賀状	350 名
	暑中見舞い	328 名
	合 計	678 名

(5) 生きがい活動支援通所事業の実施

在宅で生活する高齢者で、家に閉じこもりがちで主に一人暮らしの方を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的な生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。

また、全地区を対象として一日研修(新居浜市 愛媛県総合科学博物館見学)を実施した。

スタッフ 職員	3 名	(嘱託職員 1 名、パート職員 2 名)
地区	6 班	(松丸 目黒上、目黒下、西の川 吉野 1、吉野 2)
利用者	65 名	
参加費	1 回約 500 円	昼食代等
総事業費	3,297,435 円	

(6) ふれあい・いきいきサロン

○ 高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地

域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいを推進した。

グループ名	実施回数	参加者
なでしこ（豊岡前）	14回	21名
脱線グループ（豊岡後）	12回	7名
コスモスの会（蕨生）	13回	16名
ここにこ会（蕨生）	9回	8名
ミナクル会(古市場)	11回	9名
陽だまり会(奥内)	10回	18名

○ 介護者自身の心と身体の健康を保つことや、情報交換しながら互いに支えあい、経験を分かち合いながらよりよい介護を目指すことを目的として、「介護者サロン」を実施した。地域福祉担当職員、地域包括支援センター職員、ケアマネージャー、ヘルパーと連携し、情報発信や運営を行った。

平成 27 年 5 月 19 日 参加者 6 名
 平成 27 年 7 月 28 日 参加者 6 名
 平成 27 年 9 月 29 日 参加者 6 名
 平成 27 年 11 月 25 日 参加者 10 名
 平成 28 年 2 月 29 日 参加者 7 名

(7) 福祉教育への取り組み

ふだんのくらしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなと一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来ることを考えるきっかけづくりとして、学校との協働で福祉教育に取り組んだ。

○ 給食サービス事業の弁当に添えているメッセージカード作成

西小学校 5 回 東小学校 4 回 南小学校 2 回

○ 防災教育「防災講座」実施

西小学校 5 年生 平成 27 年 10 月 7 日

災害に対する意識を高めるため、松野町赤十字奉仕団と一緒に防災ずきんを作り、活動を通じて異世代交流を図り、地域でのつながり作りをした。

○ 福祉教育の実施

当事者との交流や高齢者疑似体験、車イス体験を通じて、「障がい」や「高齢」の理解だけでなく、「その人」への理解が深まるよう福祉教育を実施し、自分にできることを考えるきっかけ作りをした。

東小学校 3.4 年生 平成 27 年 11 月 13 日

平成 27 年 11 月 27 日

○ 高齢者との交流会実施 平成 27 年 10 月 29 日

南小学校と生きがい活動支援通所事業目黒地区参加者との交流会

○ 障がい者とのミュージックケア交流会実施 平成 27 年 10 月 17 日

参加者 50 名

さまざまな人との交流を通じ、地域に暮らす一人として、できることは何かを考え行動する力を育むため、子どもから高齢者、障がい者が集う場をつくり、共に活動し交流を図った。

(8) 子育て支援への取り組み

子育て世代の孤立を防止し、住みやすい地域を目指し、地域づくりの担い手を育成した。

○ 防災講座の実施 平成 27 年 9 月 15 日

参加者 子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 4 組

松野町日赤奉仕団 5 名

身近にあるものを利用した避難所で役立つ知恵を学びあい、異世代交流を通して、互いの世代への理解を深めた。

○ 「赤十字ぬくもり子育て広場」実施 平成 27 年 11 月 18 日

子どもが元気ですくすくと育つことができる地域社会を目指して、ベビーダンスの実施と応急手当の実技、松野町赤十字奉仕団員との交流により地域コミュニティの活性化を図った。

参加者 子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 8 組

松野町日赤奉仕団 3 名

2-2 福祉相談・援助活動

(1) 心配ごと相談所事業の実施

○ 相談員（民生児童委員 18 名）を中心に、毎月 1 回町民センターにおいて心配ごと相談所を開設し、あらゆる悩みごとが気軽に相談できるよう、相談支援活動に努めた。

○ 総合的な相談支援活動として、年 2 回弁護士による専門的立場からの指導並びに助言を仰いだ。

相談件数 6 件 [法的手続き 3 件 近隣との関係 3 件]

事業費 112,165 円

(2) 福祉サービス利用援助事業の実施

認知症や障害者など判断能力に不安があったり、不十分な方が、できる限り地域で安心して、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用にあたり、本人との契約により下記の援助を行なった。

- ・ 福祉サービスの利用契約における援助
- ・ 情報提供、相談、助言
- ・ 日常的金銭管理、書類等預かりサービス

利用者 3 名 相談件数 63 件

生活支援員 2名

利用料 1,000円 (1回1時間程度 生活保護受給者は無料)

(3) 法人成年後見人の実施

平成26年11月の家庭裁判所審判(松野町長申立てによる家裁審判)により、1件(認知症高齢者)の成年後見人として、家庭裁判所等と相談しながら、被後見人の財産管理や身上監護(生活・医療・介護等に関する契約や手続き)を含めた生活支援を行った。

(4) 生活困窮者自立支援事業

愛媛県からの受託により、「くらしの相談支援室」を開設し、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付け、関係機関との連携により、情報提供や必要な支援を行なうと共に、支援内容に応じた支援プランの作成を行ない、一体的、かつ計画的な支援に努めた。

- ・新規相談受付件数 18件
- ・総相談件数 128回
- ・プラン作成件数 4件
- ・就労者数 3件
- ・支援調整会議の開催 2回

(5) 生活福祉資金貸付事業

(愛媛県社協の委託事業 受託費 224,072円、相談体制整備 444,000円)

低所得世帯等を対象とした貸付金制度である生活福祉資金において、民生児童委員の協力により相談受付及び貸付事務を行うとともに、償還事務を実施した。

	緊急小口	教育支援	福祉資金	合計	備考
貸付件数	2件	0件	0件	2件	
貸付金額	180,000円	0円	0円	180,000円	

相談件数 39件

(6) 小口貸付資金貸付

緊急または不時の出費を要する場合に、生活困窮者の自立を支援するため、民生委員と連携して生活指導及び小口資金の貸付けを行った。

件数 4件 貸付金額 54,080円 (27年度貸付総額)
預金額 156,000円 (28年3月末)
原資 336,000円

2-3 共同募金運動の推進

(1) 共同募金運動の推進

本年度募金目標額 744,000 円を設定、各部落区長、組長、民生児童委員協議会、各種団体と住民の皆様の理解と協力により、下記の実績をおさめることが出来た。

共同募金目標額	744,000 円
共同募金実績額	821,179 円
目標達成率	110.3%

(2) 共同募金配分事業（26 年度募金による 27 年度配分事業充当）の実施

総事業費 718,891 円

(ア) 町内の集会所に設置されている遊具を専門業者に依頼し一斉点検を行い、自治会等と相談しその補修等を行い、児童の健全育成の支援を行った。

○ 点検箇所 11 箇所

(磯崎児童公園、向井公園、向井集会所公園、延野々集会所公園、隣保館公園、豊岡後集会所公園、豊岡前住宅集会所公園、吉野アポロ広場、梁瀬集会所公園、伊井公園、逆杖公園) 調査費 54,000 円

○ ベンチ新設 2 箇所 中央診療所バス停、虹の森公園前バス停

123,120 円

○ 補修遊具 1 箇所 1 基 補修費 108,000 円

延野々集会所 滑り台補修・塗装

(イ) 母子父子家庭クリスマスプレゼント事業の実施

両親に恵まれない小学校児童、幼児 38 名に対し、民生児童委員の協力を得てクリスマスプレゼントを贈り、地域における要援護児童家族の把握を行うとともにその健やかな成長を支援した。

未就学児	12 名
小学 1 年生	3 名
小学 2 年生	3 名
小学 3 年生	2 名
小学 4 年生	6 名
小学 5 年生	5 名
小学 6 年生	7 名

合計 38 名 事業費 94,809 円

(ウ) 地域活動支援

○ ふれあい・いきいきサロンへの助成 118,000 円

年間活動助成金 118,000 円 (6 グループ)

○ 目黒地区の生活支援組織「にこにこ会」の活動を支援。

傷害保険料 10,962 円

(エ) 地域福祉推進特別事業 210,000 円

○愛媛県共同募金会からの特別配分により、地域福祉活動計画策定にあたりアンケートによる実態調査費用（138,038 円）、調理ボランティアが活用するガスコンロ、炊飯器の整備（71,962 円）を行なった。

(3) 歳末たすけあい運動の実施

平成 27 年度においても「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動を各部落区長・組長の支援を受けて実施した。この運動に対し、住民の皆様の温かい協力により、322,254 円の善意が寄せられ、社協助成金 3,746 円と併せて、326,000 円の義援金を福祉施設入所者 19 名と、町内在住者 211 名へ贈った。

なお、町内在住者の義援金配布においては、地区担当民生委員の協力により、見守りを兼ねて実施した。

(4) 日本赤十字社 社資募金

本年度日赤県支部よりの割当て目標額 640,000 円を設定、社資募金運動を展開した結果、住民の皆様の理解と各部落の区長、組長の協力により、下記の実績をおさめることができた。

社資募金目標額	640,000 円
社資募金実績額	590,955 円
目標達成率	92.3%

2-4 福祉団体事務

(1) 松野町老人クラブ連合会への自立支援

松野町老人クラブ連合会の事務局として、理事会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

・理事会	開催回数	2 回
・総会	開催回数	1 回

② 軽スポーツの普及支援

・クロッケー大会 1 回	・ペタンク大会 1 回
--------------	-------------

③ 単位老人クラブの活動支援

・総会の資料作成支援
・一日研修の支援

(2) 松野町身体障害者福祉協議会への自立支援

松野町身体障害者福祉協議会の事務局として、役員会の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

・役員会	開催回数	1 回
------	------	-----

- ・総会 開催回数 1回
- ② 各種大会等の引率
 - ・県障害者福祉推進大会
 - ・中四国身体障害者福祉大会
 - ・県身障連市町団体代表者会議
 - ・障害者避難所体験訓練事業
 - ・県内障害者団体との合同研修会
- ③ 運営費の助成 26,400 円
 - 研修費助成 37,980 円（中四国大会等）

(3) 松野町遺族会への自立支援

松野町遺族会の事務局として、役員会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

- ① 会議開催の支援
 - ・役員会 開催回数 1回
- ② 各種大会等の引率
 - ・愛媛県遺族大会
- ③ 戦没者追悼式の共催
- ④ 運営費の助成 26,400 円

(4) 松野町母子寡婦福祉協議会への支援

- ① 運営費の助成 16,000 円

(5) 朗読ボランティアへの支援

- ①運営費の助成 12,000 円

3 在宅福祉サービスの推進

3-1 居宅介護支援事業

平成 12 年 4 月から開始された介護保険制度に対応し、指定居宅介護支援事業所として、介護保険利用者の居宅介護支援計画（ケアプラン）の作成やサービス担当者会議の開催（円滑な支援のための事業者と利用者、介護者家族間の連絡調整）、及び訪問相談支援活動を行い、利用者が健全で安らかな在宅生活を送れるよう、また、家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。

また、利用者世帯への相談助言活動を通じて、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、理学療法士、保健師、民生委員等との連携と指導協力を得て、地域福祉の向上に努めた。

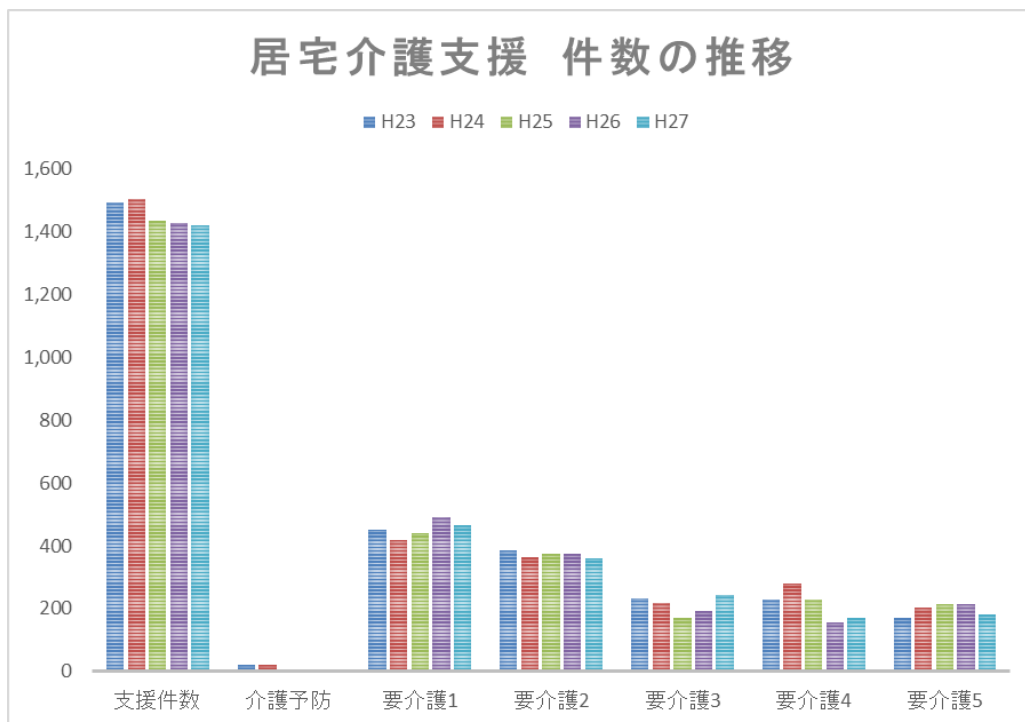
ケアプラン作成件数

							H27年度
	支援件数	介護予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	115		40	27	18	14	16
5月	121		41	24	21	19	16
6月	124		43	25	21	18	17
7月	121		41	26	23	15	16
8月	121		42	30	21	12	16
9月	120		42	29	21	13	15
10月	119		40	31	21	12	15
11月	114		37	31	19	13	14
12月	115		35	32	20	15	13
1月	115		33	36	19	14	13
2月	116		34	33	19	15	15
3月	118	1	36	35	19	12	15
計	1,419	1	464	359	242	172	181

住宅改修支援 7件
福祉用具購入支援 13件

居宅介護支援 件数の推移

	支援件数	介護予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H23	1493	21	452	387	231	230	172
H24	1505	23	417	364	219	280	202
H25	1433	1	440	375	172	230	215
H26	1426	0	490	375	191	157	213
H27	1419	1	464	359	242	172	181



3-2 訪問介護事業

平成12年4月から開始された介護保険制度に対応し、指定訪問介護事業所として、生活援助や身体介護を行い、利用者の日常生活動作の改善や、生活の質を高める介護に努めた。なお、平成23年9月から土日祝の介護サービスの提供を実施している。

なお、「離島等における特別地域加算に係る利用者負担額軽減措置」を関係機関に検討依頼し、特別地域加算を実施した場合に利用者負担額が大きくなるように、特別地域加算の研究を行った。

訪問介護事業の利用状況 (訪問回数・訪問時間)

	訪問回数				
	利用者数	身体	複合	生活	計
4月	34	250	39	166	455
5月	36	326	36	179	541
6月	33	233	35	187	455
7月	34	224	38	202	464
8月	34	209	40	194	443
9月	36	232	35	204	471
10月	32	227	42	187	456
11月	30	181	43	137	361
12月	30	194	48	113	355
1月	31	236	49	108	393
2月	30	222	58	111	391
3月	31	238	55	118	411
計	391	2,772	518	1,906	5,196

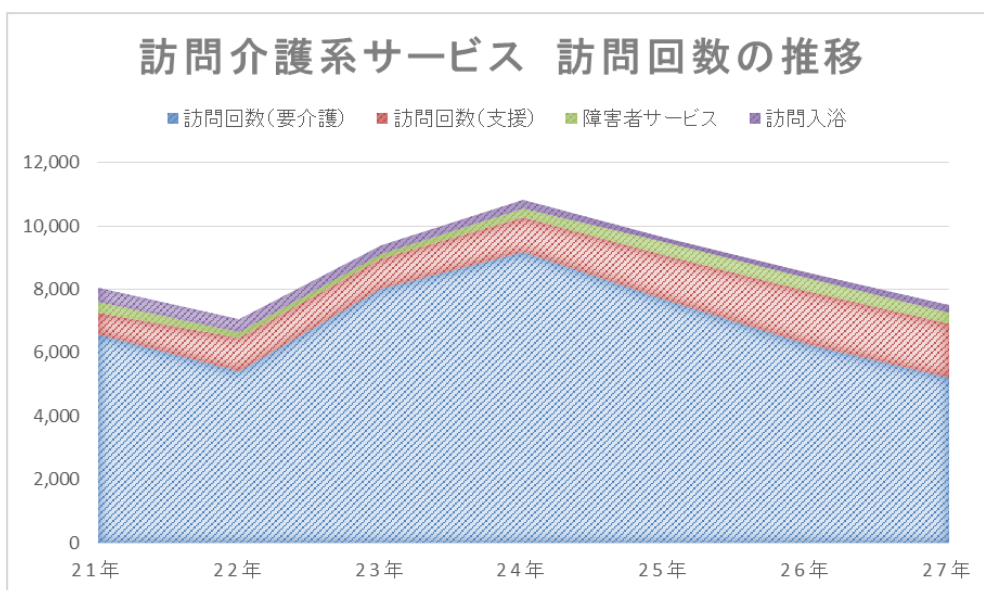
訪問回数	
利用者数	介護予防
26	154
26	159
26	164
25	157
22	137
22	138
22	141
23	138
23	135
25	137
24	142
22	139
286	1,741

	訪問時間				
	利用者数	身体	複合	生活	計
4月	34	102.5	46	143	291.5
5月	36	193.5	42.5	153	389
6月	33	98	42	159	299
7月	34	142.5	45	173.5	361
8月	34	129	46.5	167	342.5
9月	36	145	42	177	364
10月	32	144.5	51.5	163	359
11月	30	122.5	54	124	300.5
12月	30	131.5	56.5	105	293
1月	31	150.5	59	100	309.5
2月	30	144	64.5	103	311.5
3月	31	155	61.5	106	322.5
計	391	1,658.5	611.0	1,673.5	3,943.0

訪問時間	
利用者数	介護予防
26	154
26	159
26	164
25	157
22	137
22	138
22	141
23	138
23	171
25	137
24	142
22	139
286	1,777.0

訪問介護系サービス 訪問回数の推移

年度	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
訪問回数(要介護)	6,587	5,404	8,022	9,189	7,678	6,264	5,196
訪問回数(支援)	689	1,088	951	1,096	1,398	1,676	1,741
障害者サービス	314	147	130	272	399	415	310.5
訪問入浴	450	424	299	280	137	161	271
計	8,040	7,063	9,402	10,837	9,612	8,516	7,519



3-3 訪問入浴事業

平成 12 年 4 月から開始された介護保険制度に対応した指定訪問入浴介護事業所として事業実施をしていたが、平成 21 年 7 月から基準該当訪問入浴事業所として松野町の登録へと変更し、職員体制を効率よく配置できるよう調整を行い、寝たきり老人の身体の機能回復や清潔を保ち、在宅福祉の向上に努めた。

訪問入浴事業の利用状況

H27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	4	3	3	4	4	4	6	7	7	7	8	60
回数	16	19	17	18	11	20	23	27	30	27	29	34	271

3-4 身体障害者居宅介護事業

平成 18 年 4 月に開始された障害者自立支援法（平成 25 年 4 月から障害者総合支援法へ改正）に対応し、指定障害者居宅介護事業所として、身体障害者が在宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助等を行い、自立的生活を支援した。

身体障害者居宅介護事業の利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数
利用者数	5	5	5	4	4	4	5	5	5	5	4	5	56
身体中心													0
家事中心	27	30	29	22	21	20	24.5	32	32	28	22	23	310.5

4 まごころ銀行運営事業

町民の方の善意の寄付金を受付管理し、お礼状を発送するとともに本人の同意のもとに広報誌等へ記載し、その健全な管理運営に努めた。

また、まごころ銀行助成金交付要領に基づき、助成事業を公募し理事会における審査を行い、助成金の交付を行った。

平成27年度 寄付金 1,192,000円 36件
 寄付金総額(27年度末総額) 21,409,915円(21,002,550円)
 (407,365円増 対前年度比)

寄付申込書における使途希望状況 平成27年度

	金額	件数	割合(金額比)	割合(件数比)
地域福祉事業へ	522,000	16	44%	44%
介護保険事業へ	230,000	8	19%	22%
法人へ一任	420,000	11	35%	31%
その他	20,000	1	2%	3%
計	1,192,000	36	100%	100%

平成27年度 まごころ銀行助成金交付状況

No.	事業名	団体名	助成額(円)
1	松野の子供の健康を守る会	松野中学校PTA	189,000